

見本「ライブミュージシャン編」

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う京都市文化芸術活動緊急奨励金
交付申請書

(あて先) 京都市長	2020年4月30日
住所 〒606-8342 京都市左京区岡崎最勝寺町2	氏名(グループの場合はグループ名及び代表者氏名) 岡崎イキ太郎

京都市補助金等の交付に関する条例第9条の規定による奨励金の交付を申請します。

グループでの申請の場合、氏名、生年月日、現住所、連絡先(事務所など)は、それぞれ代表者について記載し、別紙(グループの構成)を添付してください。

1 申請者について			
氏名(芸名) (グループの場合は名称)	(ふりがな おかざきいきたろう) 岡崎イキ太郎		
グループの場合は代表者名(芸名)と構成人数	(ふりがな) バンド等グループの場合は、代表者が課税対象収入になることにご注意ください。		
生年月日	1955年	年齢	65歳
連絡先	住所：〒606-8342 京都市左京区岡崎最勝寺町2 電話：075-761-4484 FAX：075-752-3351 E-mail：○○○@○○○		
その他連絡先(事務所等)	住所：〒 電話： FAX： E-mail：		
活動ジャンル (あてはまるものに○を付ける)	<input type="checkbox"/> 文学 <input checked="" type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 美術 <input type="checkbox"/> 写真 <input type="checkbox"/> 演劇 <input type="checkbox"/> 舞踊 <input type="checkbox"/> 映画 <input type="checkbox"/> 漫画 <input type="checkbox"/> アニメーション等のメディア芸術 <input type="checkbox"/> 雅楽 <input type="checkbox"/> 能楽 <input type="checkbox"/> 文楽		

	<input type="checkbox"/> 歌舞伎 <input type="checkbox"/> その他の伝統芸能 <input type="checkbox"/> 講談 <input type="checkbox"/> 落語 <input type="checkbox"/> 浪曲 <input type="checkbox"/> 漫談 <input type="checkbox"/> 漫才 <input type="checkbox"/> 歌唱 <input type="checkbox"/> 茶道 <input type="checkbox"/> 華道 <input type="checkbox"/> 書道 <input type="checkbox"/> 食文化 <input type="checkbox"/> その他の生活文化 () <input type="checkbox"/> 国民娯楽 (囲碁, 将棋) <input type="checkbox"/> 上記にあてはまらないもの ()	
主な活動拠点	施設名称： ライブハウス HAG 住所： 京都市中京区桜咲町 2	
2 活動実績, 新型コロナウイルス感染症による影響について		
主な活動実績 (京都市域における文化芸術の振興や発信に関する活動実績を記載してください。※主要な師事歴等も含む)	年 月	内 容
	1970年4月	〇〇〇ミュージックスクールにて音楽理論を〇〇氏に師事、ギター実技を〇〇氏に師事し、ロック、ポップス、ジャズなど幅広いジャンルの音楽を学ぶ
	1977年4月	演奏活動開始。京阪神地域のホールやライブハウスを中心に月10本程度のライブを実施、全国ツアーも始める。
	1980年6月	1st アルバム「〇〇〇〇」を発表
	1982年4月	京都〇〇〇フェス出演
	1985年6月	2nd アルバム「〇〇〇〇」を発表
	1990年10月	〇〇フェスにて、〇〇氏、〇〇氏と共演
	1995年5月	ライブハウス HAG にて、「〇〇イベント3 DAYS」を実施
	2000年9月	3rd アルバム「〇〇〇〇」を発表
	2002年7月	〇〇サマーフェスにゲスト出演
	2005年10月	ライブハウス HAG にて、アーティスト10名とのコラボイベントを開催
	2007年8月	京都岡崎〇〇ミュージックに出演
	2009年11月	4th アルバム「〇〇〇〇」発表
	2011年3月	〇〇支援イベント出演
2015年8月	ミニアルバム発表	
2017年6月	5th アルバム「〇〇〇〇」発表	
2019年5月	ライブハウス HAG にて、〇〇支援イベント開催	
新型コロナウイルス感染症による事業への影響(事業の中止・延期状況等)	2020年2月〇日「〇〇〇フェスティバル」共催 →中止 2020年3月〇日「ライブハウス〇〇〇」主催 →中止 2020年3月〇日「カフェ〇〇〇」主催→中止 2020年3月〇日「〇〇〇ミュージックフェス」主催 →中止	

<p>※開催日, 事業名, 実施クレジット (主催なのか・共催なのか) など具体的に記入してください。</p>	<p>2020年4月〇日「イベント〇〇」共催→中止 2020年4月〇日「ライブハウス〇〇」共催→中止</p> <div style="border: 1px solid black; background-color: #c8e6c9; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>主催→アーティスト本人がライブハウスを拠点に活動する場合 共催→フェスやライブハウス主催イベントに出演する場合</p> </div>
<p>3 申請事業について</p>	
<p>事業名称</p>	<p>アーティスト・ライブハウス応援無観客ライブ事業</p>
<p>申請区分 (あてはまるものに〇を付ける)</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 表現部門 <input type="checkbox"/> マネジメント・技術部門 <input type="checkbox"/> 上記の複合部門</p> <div style="border: 1px solid black; background-color: #c8e6c9; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>情勢により 8/31 までに開催できない場合、期間を超えてもよい。ただし、今年度中に終えるように。</p> </div>
<p>事業実施期間 (予定)</p>	<p>令和2年6月15日～8月31日</p>
<p>申請する事業内容 (活動の方法, 場所, 実施内容などを具体的に記入してください)</p>	<p>【活動の方法】 ライブハウス HAG にて、企画に賛同するアーティストとともに配信ライブを行う。</p> <p>【場所】 ライブハウス HAG 京都市中京区桜咲町 2</p> <p>【実施内容】</p> <p>6月 ・参加アーティストの募集 (4組 15名程度) 演奏の機会を失ったアーティストに参加を呼びかける。 ・広報の準備 フライヤーなど紙媒体、SNS による発信をするための準備を行う。 ・アーティストに向けたリモートによる勉強会 配信ライブの方法や、動画配信の方法などを学ぶ</p> <p>7月 ・イベント開催に向けた会議 (リモートによる)</p> <p>8月 ・イベント開催 実施日: 8月〇日(日)13時30分～16時30分 出演: アーティスト 4組 1組 30分程度の演奏時間</p>
<p>現下の情勢に対応した活動内容として、特に留意すること (社会的距離の確保, 三密回避, 表現</p>	<p>・参加アーティストの募集、広報準備はすべて電話、メール、SNS、リモート会議等を活用する。 ・イベントに出演するアーティストについては、リハーサルから出演まで、タイムスケジュールによって入れ替わり密集を避ける。</p>

<p>手法等について ※人数，場所，手法 などを具体的に記入 してください)</p>	<p>・演奏時においても、できるだけ社会的距離を確保できるように、楽器等のセッティングを工夫する。</p>
<p>申請理由や奨励を受 けて目標とすること</p>	<p>私たちがかつて経験したことがない状況のなかで、ただこの状況を茫然と受け入れるだけではなく、少しでも可能性を見出しながらチャレンジしていくことが重要であると考えています。今回申請した理由は、比較的年齢の高いアーティストでも、新たな活動の機会を作り出していけるということに気づききっかけになることを期待しています。いわゆるデジタル世代と言われるさまざまな機器の活用に慣れている世代だけではなく、幅広い年齢層が表現活動を継続することを考えていかなければならないと感じています。</p> <p>目標とすることは、アーティストの表現活動の場を広げること、さまざまな機器の活用の定着を目指すためのきっかけづくり、ライブハウスの活動活性化を目指しています。</p>
<p>奨励を受けたこと で、今後取り組んで いきたい活動 (市民還元について 触れながら書いてく ださい)</p>	<p>この未曾有の経験を通して、私たちが普段取り組む音楽活動について改めて向き合うきっかけになったことを前向きに捉えています。普段、公的助成金の対象とはなりにくい、地元アーティストの音楽活動ですが、市民に近い関係性の中で表現活動を続けてきたことについては、ここに多くのニーズがあるからこそだと思います。現下の情勢ではありますが、この資金の活用をきっかけとして、今後も多くのニーズに応えることができるよう、以下のことを、多くのアーティストとともに取り組んでいきたいと思っています。</p> <p>①場所や時間の制限を受けない表現活動と発信 ②リモートによるアーティストコラボ作品の制作と発信</p> <div data-bbox="512 1489 1382 1702" style="background-color: #c8e6c9; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>市民還元とは・・・ 文化芸術活動の緊急支援策ではありますが、財源は市民の税金です。多くの市民がこの困難を乗り越えるために少しでも自宅での楽しみを享受できるようにイメージしながら書いてください。</p> </div>

<添付文書>

- ・別紙2 収支予算報告書
- ・これまでの活動実績が分かる書類（自由様式。写真，パンフレット等。A4サイズ3枚程度。）オンライン申請の方は、申請フォーム入力後に送られてくるメールに資料を添付して提出してください。
- ・京都の芸術家等の活動状況に関するアンケート

第2号様式（6条関係）

収支予算書

会場使用料等はしっかり打ち合わせをして金額確定したものを書き入れてね。

1 支出の部

	支出予定事項	支出予定額	備考 (奨励金を充てる金額や数量・単価等)
内 訳	会場使用料	50,000	ライブハウスHAG使用料
	出演アーティスト謝金	200,000	@50,000×4組
	配信用機器関係	50,000	機器のレンタル (30,000) エンジニア謝金 (20,000)
	勉強会講師料	20,000	講師料交通費込み
	広告宣伝費	30,000	フライヤー印刷 (5,000) WEB 広報作成費用 (25,000)
	消耗品費	10,000	文具他
合計額		360,000	

収入と支出の合計金額は合わせてね。

2 収入の部

	収入予定事項	収入予定額	備考
内 訳	奨励金	300,000	
	ライブチケット	60,000	@1,000×60名
合計額		360,000	

収入と支出の合計金額は合わせてね。